



校長室から

お蔭様（おかげさま）

校長 郷野 俊介

7月7日の土曜日、本校野球部は長崎県営野球場で夏の全国高校野球選手権長崎県大会1回戦で上五島高校と対戦した。私も3塁側ベンチ真上の観客席で大きな声を張り上げながら応援した。残念ながら4対8で敗れはしたものの、3年生2名を中心に持ち前の打力で相手を上回る14安打のヒットを放ち、平高野球部の打力を披露してくれた。1・2年生は今年の経験を活かして必ず来夏に向けて頑張ってくれることと期待している。

今月は西日本豪雨災害に始まり、現在は熱中症で搬送される人が多数発生する危険な暑さが続いている。特に西日本豪雨災害では15府県で死者225人、行方不明13人、4000人を超える人々が住宅損壊、浸水により、行き場を失い、避難所暮らしを続けている。広島県の高校野球県大会は豪雨災害のため10日遅れで開幕し、犠牲者への黙とうが捧げられた後、選手宣誓を行ったのは豪雨被害で同級生を失った安芸南高校の主将だった。彼は学校周辺が豪雨で大きな被害を受け、友人を探すために練習よりもガレキ撤去等のボランティア活動を優先した。選手宣誓の中で「どんな困難も乗り越えて挑戦します。被災された方々に勇気と力を与えられるよ

う全力でプレーします。」また、「大会が開催されること、野球ができることに感謝します。感謝を胸に、がむしゃらにプレーすることを誓います。」と宣誓した。普段私たちは、何事もなくあたりまえのこととして、学校に登校し、勉強し、部活動を行うことを深く考えもせず生活しているが、災害が起こる度に穏やかな一日一日が決してあたりまえでないことに気付かされる。

さて、表題の「お蔭様（おかげさま）」は、感謝の心を表わす日常語である。諸説あるが以前読んだ本の中で、古くから日本人は太陽を信仰し手を合わせる習慣があり、「お蔭」とは、太陽＝信仰の蔭、即ち神仏の加護のことを指し、そこから派生して、人から受ける恩恵や力添えをいうようになったと書かれていた。また、「お蔭様」の文字は、自分の力で生きていると錯覚している私を、私の気づかないところで（蔭の見えないところで）、多くの方々が支えてくれていることを表す。

私もみなさんのお蔭で仕事ができるわけで、生かされていることに感謝し、命（今できること）を全うしようと考えている。

野球選手権長崎大会

第100回全国高等学校野球選手権記念長崎大会が開会されました。本校は7月7日（土）に長崎ビッグNスタジアムで上五島高校と1回戦を戦いました。1回に2点を先制すると、相手より多い14安打を放ちましたが、2回と5回に4点ずつ取られ、4-8で敗れました。暑い中の試合でしたが、選手は全力プレーで戦い抜きました。応援ありがとうございました。



2年生職場体験学習

7月9日から3日間、2年生が市内の事業所で職場体験学習を行いました。事業所への挨拶や打合せの仕方も事前に学習しました。仕事で得られる喜びや苦勞、従業員の方々との交流など、貴重な経験をすることができました。来年に控えた進路決定の参考になったことと思います。事業所の方々、お忙しい中ご協力ありがとうございました。



芸術鑑賞会

7月14日(土)に創成館高校演劇部巡回公演「髪を梳かす八月」が中部ふれあいセンターで行われました。創成館高校演劇部は8月7日に全国大会を控えており、一人ひとりがたいへん感情を込めた演技をしていました。同じ高校生の素晴らしい演劇を間近に観ることができ、11月に全学級が演劇を行う文化祭を控えた本校生としては、大いに刺激になりました。



和菓子甲子園九州予選

7月14日(土)に佐賀市で開催された第9回和菓子甲子園九州地区予選に、家庭ボランティア部1年の島田香朋さんと針尾千年さんが出場しました。平戸で生産されているオレンジ「平戸夏香」を入れたゼリーとチョコレートを包んだ大福「平戸夏香大福」を制作しました。全国大会への出場は逃しましたが、「努力賞」を受賞することができました。



8月の主な行事予定

- 1日(水) オープンスクール
- 2日(木) 就職アドバイザー派遣
(3年 ~ 3日)
- 9日(木) 登校日 (平和学習)
- 27日(月) 開始式
- 28日(火) 基礎力診断テスト
- ※9月1日(土)
体育祭前校舎周辺除草作業

第44回体育祭 平成30年9月9日(日)開催!